

憲法第九条

戦争の放棄

- 1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

浜通り医療生協ニュース

2022年9・10月 第270号



発行 浜通り医療生活協同組合 編集 機関紙編集委員会
〒971-8151 いわき市小名浜岡小名字山ノ神40
組織部 92-3099 FAX 92-3105
ホームページ <https://www.hamadori-coop.jp>



私たちの現況

(2022年7月31日現在)

組合員数 14,408人
出資金総額 5億979万円
一人当たりの平均 35,382円



6月30日(木) 原水爆禁止 国民平和行進2022 小名浜コースが行われました。

(社保・平和委員会 遠藤実穂)

今年も新型コロナウイルスの影響で街中行進は中止となり、御代坂交差点での三〇分間のスタンディング。職員、組合員、他団体合わせて五〇名が参加しました。県内通行の浜通りだけを通し行進するためにはるばる京都から参加しました。

「福島を忘れないために福島島の現状を京都に帰ってしっかりと報告します。平和の標を若い人達に引き継いでいく」と話しました。

梅雨が早々にあけ、例年比較の涼しい小名浜でも当日の気温はかなり蒸し暑い状況でしたが、毎年世界大会が行われる広島や長崎の暑さとは比較にはならず、七年前原爆が投下された時の火の海に思いをはせれば、大して問題に感じませんでした。むしろ、二度と広島や長崎のような悲劇を繰り返さない!と平和を願う思いが増し、平和の大切さを強く感じる行進となりました。



力強く訴える遠藤さん

健康まつりは一九八二(昭和五七)年に健康についての関心を高めて組合員の皆さんの交流の場の提供を主な目的として開催して以来、様々な趣向を凝らし、そして規模を拡大しながら、三四回の歴史を刻んできました。

しかしながら二〇一八(平成三〇)年開催日直前に台風によりいわき地域に甚大な被害が生じたことから急遽中止して以降、翌年からは新型コロナウイルス感染症の流行拡大により二

健康まつりの中止について

年続けて中止とし、現在に至っています。現時点でコロナ収束の気配は全くありません。市内においては規模を縮小しながら三年振りの開催を決定したイベントもありますが、健康まつりは参加者の多くが医療・介護従事者であり、またその内容上密を避けるのも困難です。このようなことから今年の健康まつりは中止することと致しました。どうぞご理解いただきます。

江名支部は、今年三月で結成から一〇年が経ちました。振り返ってみますと、東日本大震災からの復興と歩みをともした一〇年でもありました。

支部の活動は、津波で住宅を失った組合員さんの転居先を捜すことから始まりました。春には、FTF車



江名支部 結成10年を振り返り

担当理事 関口多賀子

での体表面放射能測定と健康チェック、家庭菜園の野菜を持ち寄って放射能検査、冬は復興住宅で医療講演会など、様々な活動に取り組んできました。

ご協力頂いた多くの皆さまに、心から感謝申し上げます。今、コロナ禍により活動自粛が続いています

が、皆さまのお知恵を借りながら、「地域みんなで健康づくり」を進めていきたいと思っています。



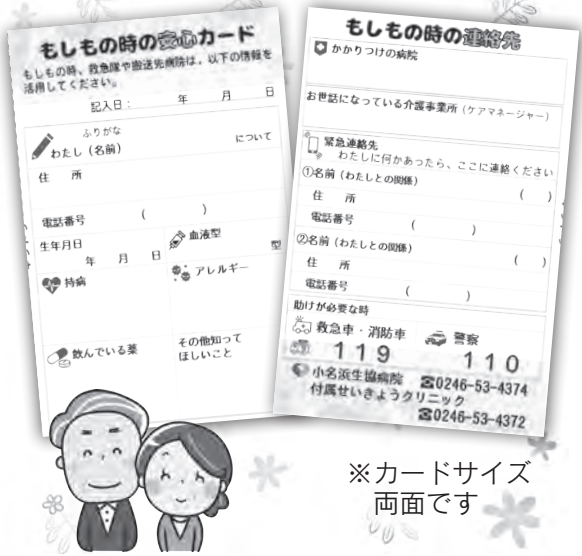


神白支部長
左近司愛子さん

私達神白支部は高齢化も進んでおり、ひとり暮らしの世帯も少なくありません。コロナ禍の自粛期間中に起こった組合員さんの色々な体験を見聞きした中で、この安心カードの取り組みを思いました。この暑さで畑や現場で熱中症になり倒れる人。買い物中に具合が悪くなり倒れる人。お家の中で急に体調が悪くなる人。様々な理由で救急車のお世話になる件数が増えていると聞きます。

今回のニュースに折込されていた「もしもの時の安心カード」。皆さんはご覧になりましたか？
これは神白支部長である左近司愛子さんが支部活動の中で思いつき生まれたものです。どんな想いが込められているのか、左近司さんにお話を寄せていただきました。

もしもの時の 安心カード



※カードサイズ
両面です

もしものそんな状況の時に最低でも自分の名前や家族への連絡先、病歴や飲んでいるお薬等の情報がわかれば救急搬送も迅速に対応され命拾いする事でしよう。自分の為に、そして離れている家族の為に、この安心カードをテーブルに置いたり、冷蔵庫に貼ったりしてみてもいかがでしょうか？
私達神白支部では、クリアケースにもしもカードを入れ御守り代わりにバッグに入れてもらえるよう、支部内の一人暮らしの高齢者宅へ届ける予定です。
明日は我が身、ご家族内で「もしもの時の安心カード」の取り組みを是非活用してみてください。

新任理事・監事 就任あいさつ



理事
阿部 直美

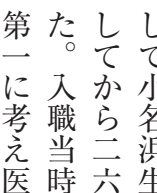
私と浜通り医療生協との出会いは、小名浜に転勤した時にわらび座公演実行委員会でも生協病院の方々と活動したことでした。小名浜市民会館での公演は満席となりました。

あれから四〇年以上が過ぎ医療生協は地域医療、福祉において重要な役割を果たしています。これからも組合員の皆様の多面的な活動を通して市民主体の医療、福祉を発展させていきたいと思っています。



理事
岩井 眞美

早いもので私が看護師と



理事
藤田 淳三

して小名浜生協病院に入職してから二六年が過ぎました。入職当時、患者さんを第一に考え医療活動に取り組んでいる職員の姿に感銘を受けたのを思い出します。看護部長、そして理事に就任した今、初心を忘れず医療活動に取り組み後進の育成にも力を入れていきたいと思っています。



理事
藤田 淳三

私は小名浜で生まれ、高校までいわきで過ごし、大学進学・就職と関東圏で一〇年間過ごしたのち、福島にUターン、今春定年退職を迎えました。年金・医療・介護などの社会保障費が削減される状況のなか、当生協の「くらしに憲法を

活かそう」という方針のもと、社会保障制度を充実させる運動に参加し、頑張りたいと思います。



理事
渡辺 義郎

新しく理事になりました四倉の渡辺です。十年ぶりの再任となります。

支部役員も交代する時期ですが、半分ほどが十年くらい前に支部を結成した時の方にお願ひしています。

常に焦りがありますが、地域の方や職員と協力して活動している内容は間違っていない事も確かです。コロナ禍中でも、二つのウォーキング班は一度も休まず継続し、他の班も六月下旬から再開、新加入の組合員を交えた活動をスタートしま

した。今後も他支部の良いところを学び、より良い四倉支部を造るために頑張りたいと思っています。ご指導宜しくお願い致します。



監事
遠藤 喜一

はじめまして。このたび監事に就任いたしました遠藤喜一と申します。私は二〇一九年三月にいわき市を退職し、同年四月から市アンモナイトセンターに勤務しております。矢吹道徳前理事長は一九八二年に私が市に入所したときの同僚であり、それ以来長い間大変お世話になっております。このたびの幹事就任はその恩返しと思っています。

第四四回通常総代会にて就任されました
理事・監事の紹介です。

☆☆読んでみてからクイズ270号☆☆

江名支部は2000何年に
結成しましたか？
2000年3月

クイズ当選者には、まちかど健康チェックで場所を提供していただいているマルトの商品券 1,000 円を抽選で5名に贈呈します。

みなさまのご応募お待ちしております。
(当選時の宛先、ご住所をお忘れなく)

〆切は 2022年10月末日 消印有効
当選発表は 272 号にて

はがきは…
971-8151
いわき市小名浜岡小名字山ノ神40
医療生協ニュース「270号」係
電子メールは…
info@hamadori-coop.jp
題名を「270号クイズ応募」とお願いします